

- 九州における延べ宿泊者数
- 九州への入国外国人客数
- 過去レポートアーカイブ

九州における延べ宿泊者数

– 2025年2月分第2次速報値 –

九州における2025年2月の延べ宿泊者数は492.6万人泊、外国人延べ宿泊者数は102万人泊で10月より5か月連続、単月で100万人泊を超えた。

● 国内客・外国人客の延べ宿泊者数（県別）

2025年1月の九州の延べ宿泊者数は、4,925,690人泊で前年同月比104.8%、コロナ前の2019年同月比では110.2%となった。全国の国内延べ宿泊者数は、34,173,740人泊で対前年同月比94.1%と伸び悩んだが、九州の国内客延べ宿泊者数は3,905,300人泊で前年同月比102.7%、2019年同月比108.0%で全国平均に比べると好調であった。一方、全国の外国人観光客の延べ宿泊数は13,760,150人泊で対前年同月比119.5%、九州の外国人観光客の延べ宿泊数は1,020,390人泊で前年同月比113.7%、2019年同月比119.2%となり、全国とほぼ同程度となった。なお、外国人観光客は、10月より5か月連続、単月で100万人を超えた。

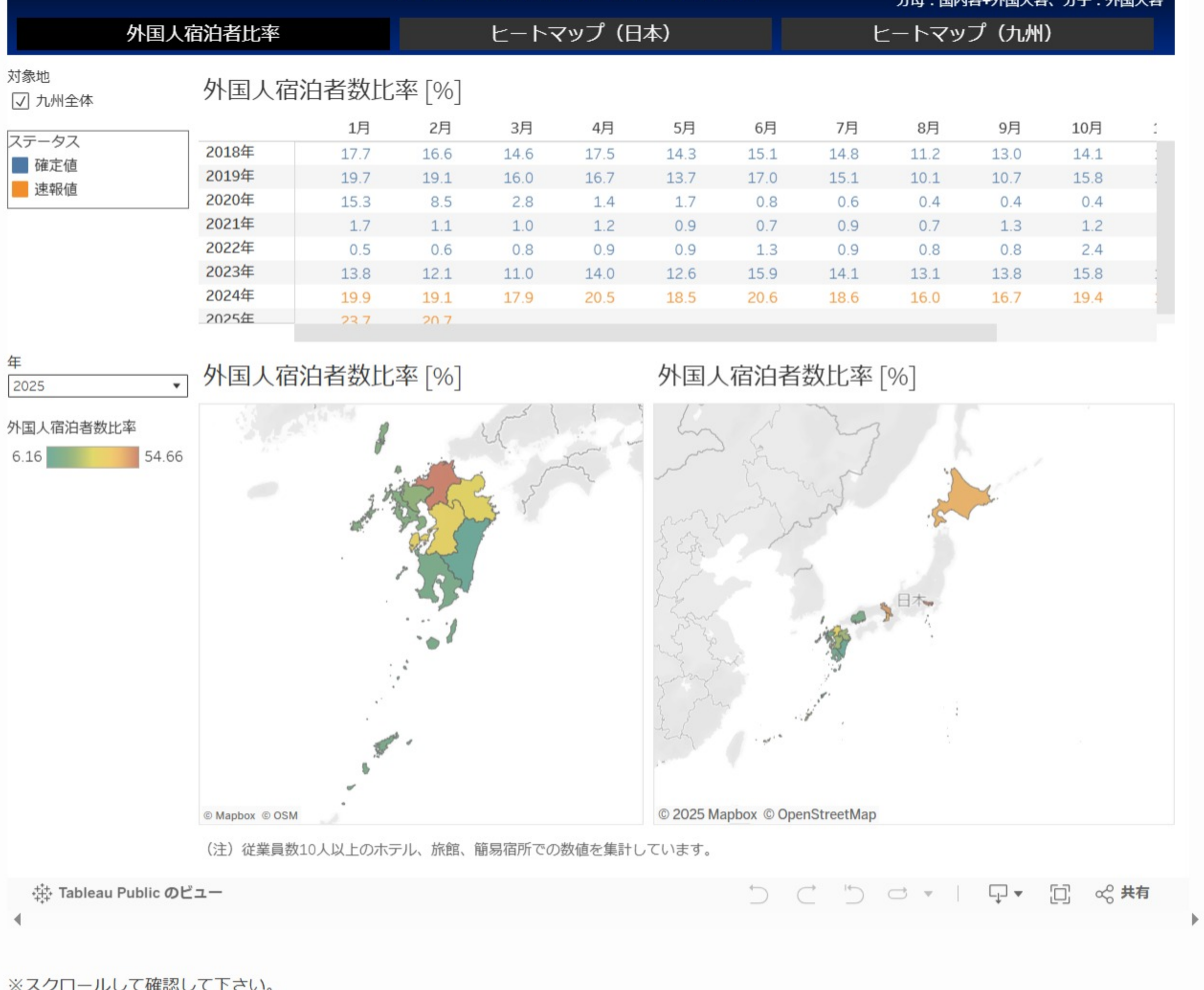


(注) 北海道・東京都・京都市・大阪府・広島県・沖縄県は参考比較対象として掲載しています。

※スクロールして確認して下さい。
 ※表右下のダウンロードボタンよりデータのダウンロードができます。「クロス集計」をクリックし、ダウンロードするシートを選択してください。
 ※観光庁「宿泊旅行統計調査」第2表より一般社団法人九州観光機構にて集計
 ※九州観光データサイトでは、延べ宿泊者数の人数を「宿泊旅行統計調査」第2表から集計しています。2024年8月までに提供していた「九州観光関連の最新統計データ（入国外国人数、延べ宿泊者数等PDF）」では従業者数10人以上の施設における延べ宿泊者数を集計していたため、数値が異なります。

● 外国人宿泊者比率（県別）

2025年2月の全国での外国人宿泊者数比率は28.7%で、九州の外国人宿泊者数比率は20.7%となった。県別で見た外国人宿泊比率は、福岡県31.5%、佐賀県11.7%、長崎県9.9%、熊本県21.8%、大分県20.4%、宮崎県5.8%、鹿児島県7.8%となった。熊本県を除いた6県において、前月にくらべ外国人宿泊比率が下がった。



(注) 従業者数10人以上のホテル、旅館、宿泊所での数値を集計しています。

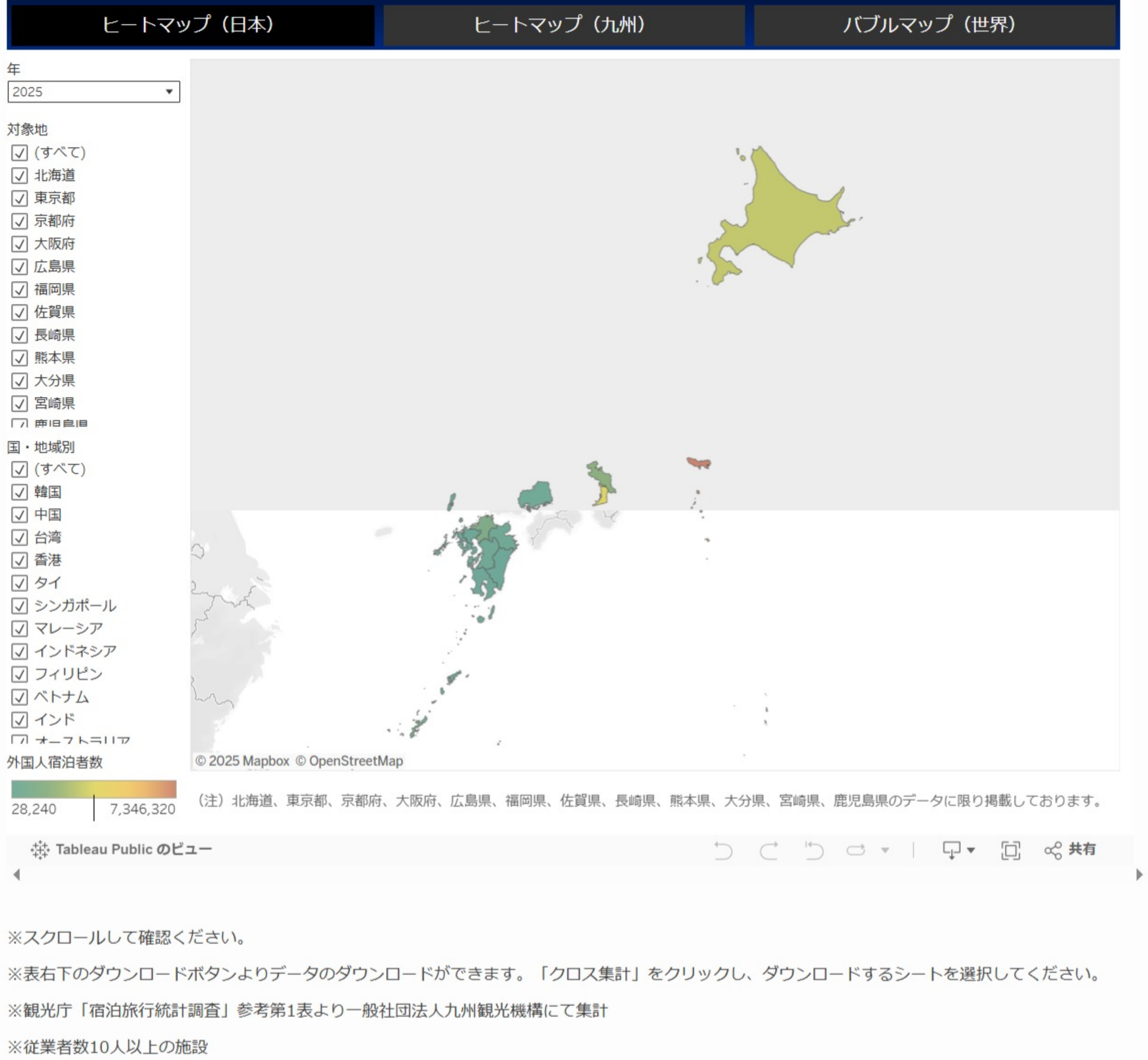
● 外国人延べ宿泊者数（県別、国・地域別） ※従業者数10以上の施設

2025年2月の外国人延べ宿泊者数を見ると、韓国の延べ宿泊者数が最も多く382,450人泊であり、次いで台湾155,130人泊、中国100,110人泊、香港74,190人泊となった。なお、2025年2月、熊本県で熊本－高雄が週3便増便した。



(注) 北海道・東京都・京都市・大阪府・広島県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県のデータに限り掲載しております。

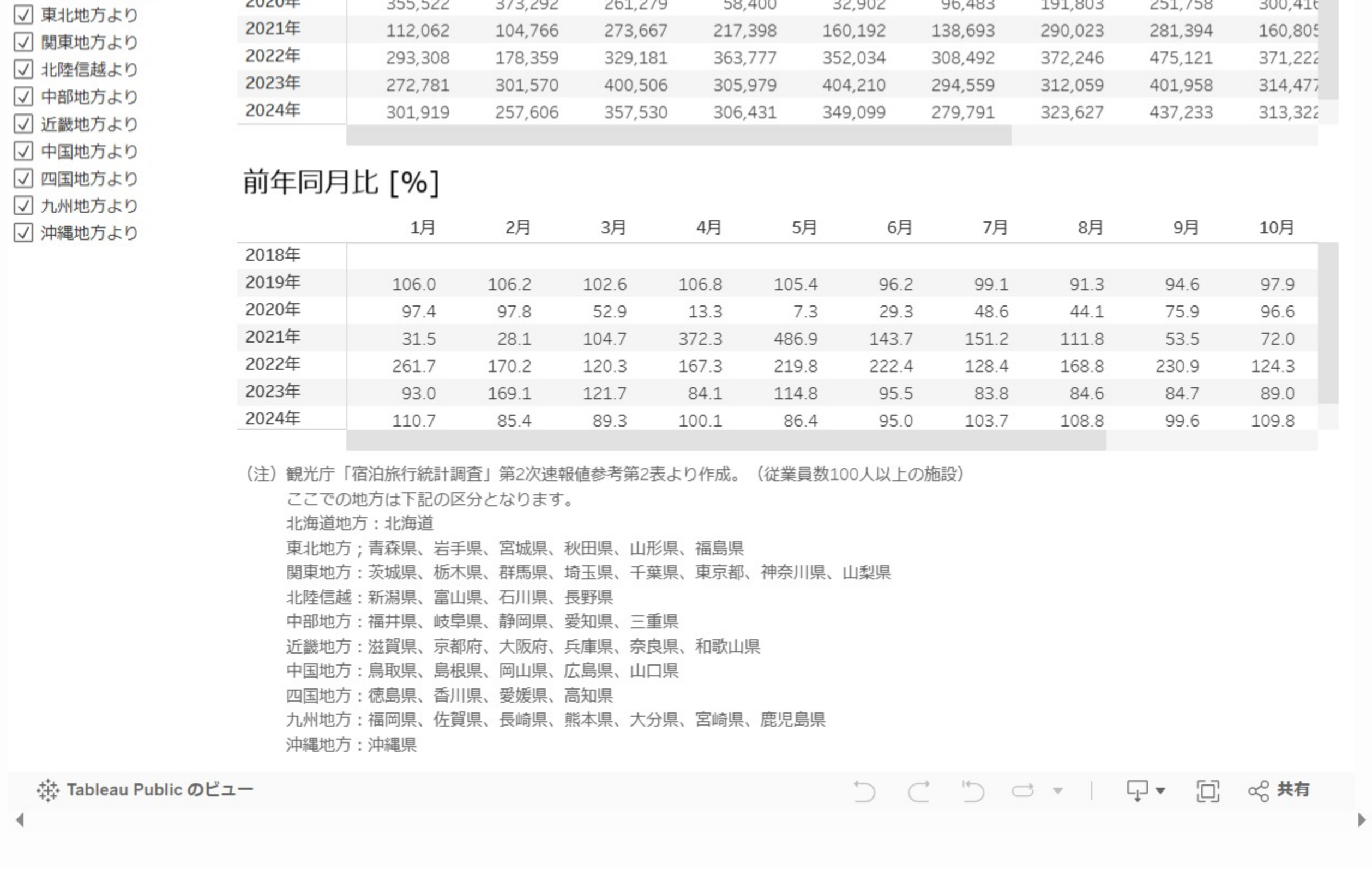
● 外国人延べ宿泊者数（県別 / 国・地域別） ※従業者数10以上の施設



(注) 北海道、東京都、京都市、大阪府、広島県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県のデータに限り掲載しております。

● 施設所在地別、国内客居住地別・外国人客の延べ宿泊者数 ※従業者数100以上の施設

従業者100以上の施設では、国内客のうち九州地方からの宿泊者が最も多く2月の延べ宿泊者数は127,769人泊、シェア44.0%。次いで関東地方で78,859人泊・シェア27.2%、近畿地方32,910人泊・シェア11.3%、中国地方16,606人泊・シェア5.7%となった。



(注) 観光庁「宿泊旅行統計調査」第2次速報値参考第2表より作成。(従業者数100以上の施設)
 ここで「地方」は下記の区分となります。
 北海道地方：北海道
 東北地方：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 関東地方：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
 中部地方：新潟県、富山県、石川県、長野県、岐阜県、静岡県、岐阜県、愛知県、三重県
 近畿地方：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 中国地方：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 四国地方：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 九州地方：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
 沖縄地方：沖縄県

本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人九州観光機構
 kto-data@welcomelyushu.jp
 企画部 野間・田中